

「医果同源」に新成分

城田弘大 准教授開発
都内フェアで披露



新たに開発した「医果同源プラス」を手にする城田准教授

弘前大学農学生命科学部の城田安幸准教授が、がん予防効果などが期待されるポリフェノールが多く含まれる未熟果実入りのリンゴジュース「医果同源」に、りんごペクチンを加えた「医果同源プラス」を新たに開発した。22〜26日に東京都の新宿高島屋で行われる「大学は美味しい!!」フェアで販売される。

食物繊維のペクチンについては、ペクチンを含んだ食品の摂取が体内のセシウム137の除去に効果的だったという海外論文もあり、福島第1原発事故後注目されている。

原発事故発生後、城田准教授の元に「医果同源」にはりんごペクチンが含まれていないのか問い合わせがあったことなどから、ペクチンを多く含むすりおろしりんごを混ぜた

「医果同源プラス」の開発に至った。

「医果同源プラス」はフェアで一般向けに初披露する。城田准教授は「フェアは単なる物産展ではなく、研究成果を社会に還元する場。一般の方々はどういうふうに研究成果を還元するか」と話した。フェア後の一般販売は現在検討中。

(齋絢一郎)